

令和2年7月7日

保護者の皆様

安芸太田町立安芸太田中学校
校長 沖本直樹

令和2年度芸北地区中学校総合体育大会及び山県郡総合体育大会の開催について

(お知らせ)

梅雨の候、保護者の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。また、日頃より、本校教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り感謝いたしております。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大にともない、6月に予定をしておりました芸北地区中学校選手権大会が中止となり、生徒にとって部活動での目標が持ちにくくなっていました。特に3年生にとっては、中学校生活最後の大会であることを考えると、なおさらであったと思います。

このような生徒の思いを大切に、感染症予防対策を十分に行うことで、総合体育大会を次の通り実施することとなり、本校としても本大会へ参加したいと思っております。

つきましては、中学校体育連盟からの通知及びガイドラインをお読みいただき、生徒の大会参加についてご協力をお願いいたします。なお、大会の観戦については3年生の保護者のみと制限させていただきますので、ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

1 開催日 令和2年7月25日(土)

2 開催場所ならびに日程

別途各部よりご案内いたします。

令和 2 年 7 月 6 日

保護者の皆様

芸北地区中学校体育連盟
会 長 竹村 和洋
山県郡中学校体育連盟
会 長 藤田 典生

令和 2 年度芸北地区中学校総合体育大会及び山県郡総合体育大会の開催について

小暑の候、保護者の皆様には、平素から芸北地区中学校体育連盟及び山県郡中学校体育連盟の活動に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、6月からの学校再開後、各学校では可能な限りの感染防止対策を行った上で、教育活動を再開しており、部活動についても、文部科学省、広島県教育委員会及び所管の教育委員会等から示される感染防止策等を踏まえ実施しているところです。

こうした中、3年生の運動部活動集大成の場、3年生に活躍の機会を与える場として、芸北地区及び山県郡総合体育大会の実施について、安全面を確保した上での開催となるよう、内容や方法等について関係機関、関係者と協議を重ねてまいりました。

その結果、各競技団体や広島県高等学校体育連盟の感染予防対策等を参考にしながら、感染拡大予防のガイドラインを作成し、可能な限りでの対策を行うことにより大会を開催することとしました。つきましては、大会の開催について、以下の内容を御確認いただき、この度の決定に御理解いただき、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 開催期日 令和2年7月25日(土) ※ 野球予備日 26日(日)
※部活動再開後の練習期間が短いこと、感染症対策に加え熱中症対策も必要となることなどから、全ての競技を1日間での開催とします。運営についても、時間短縮、試合時間や試合数の縮減等を行い、可能な範囲内での開催とします。
- 2 応援・観戦 6月の選手権大会の中止を受け、3年生の運動部活動集大成の場、3年生に活躍の場を与えるという大会趣旨を御理解いただき、三密を防ぐという観点から、**観戦は3年生の保護者のみ**と制限させていただきます。その際、
 - マスク着用をお願いします。
 - 手指消毒・手洗いや座席配置等は会場の指示に従ってください。
 - ハイタッチなど他の保護者との接触のある応援、歌唱、大声での声援は禁止とします。
 - 熱のある方、体調の悪い方は観戦を御遠慮ください。なお、大会運営管理上、万一感染が発生した場合に対応するため、感染経路の特定という観点から、**事前に観戦される方の把握を各学校で行います**。御協力をお願いいたします。

※別紙の「大会実施上の感染拡大予防ガイドライン」を御確認いただき、同意の上、生徒を参加させていただき、保護者の観戦についても御協力をお願いします。

令和2年度山県郡中学校総合体育大会実施上の 感染拡大予防ガイドライン

1 大会実施に当たっての基本的考え方について

大会実施に当たっては、次のことを基本とする。

- (1) 感染源を絶つ。
- (2) 感染防止の3つの基本を徹底する。
 - 身体的距離の確保
 - マスクの着用
 - 手洗い・消毒の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間，密集場所，密接場所）を回避する。
- (4) 安全な活動環境等の確保を行う。

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 監督等は，大会当日の朝，家庭での検温及び保護者からの報告（健康観察カード等）を行い，発熱等風邪の症状（咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある生徒や体調がすぐれない生徒がいる場合は，大会参加を見合わせるよう指導する。

大会関係者（監督，コーチ，役員（外部審判含む））についても，発熱等風邪の症状（咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある場合や体調がすぐれない場合は，大会参加を見合わせる。
- 監督等は，集合時，ウォーミングアップ終了後，試合前後，昼食時，解散時等，生徒の健康観察を徹底する。
- 大会中，生徒や大会関係者に体調不良がある場合は，大会本部に申し出る。

(2) 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 大会関係者は，生徒の集合時，待機中，休憩中及び食事中などにおいて，生徒同士の間隔を，できるだけ2メートル（最低1メートル）空け，会話を控えるよう指導する。
- 監督会議等を実施する場合，人と人との間隔が，できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう，椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 対戦相手や審判等との握手，仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣，ハイタッチなどの身体接触を伴う行為及び歌唱や大声での声援は行わない。
- 飲料ボトルやタオルなどは共用せず，個人専用のものを使用する。

イ マスクの着用

- 大会中，生徒及び大会関係者は，基本的にマスク等を着用し，咳エチケットを徹底するよう指導する。ただし，競技中や熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は，マスクを外すよう生徒に指導する。

ウ 手洗い等の徹底

- 監督等は、集合時（バス等での移動の前も）、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんで手洗いを行うよう、生徒に指導する。

(3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避

- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、可能な限り座席を離したりするとともに、マスクを着用させ、会話を控えるよう指導する。
- 屋内競技の会場は、可能ならば扉や窓を常時開放する。会場や競技の特性上難しい場合は、定期的に会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。
- ベンチやウォーミングアップゾーン、観客席等において、椅子の間隔を広げるなど、一定の距離（できるだけ2メートル（最低1メートル））をとれるよう措置を講じる。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 消毒液を、会場入り口を含む複数か所に設置する。
- 各会場において、施設と連携し、状況や各競技特性に応じた適切な感染防止策を講じる。

3 その他

- 各競技において、開閉会式及び表彰式を省略する。
- 各競技において、試合数、試合時間の短縮、特別ルール等を検討し、感染症及び熱中症の予防を行う。
- 大会申込締め切り日及び組み合わせは、競技の特性に応じて、各競技専門委員長が決定する。
- 各学校において、3年生の運動部活動の集大成の場であるという趣旨の徹底を図る。
- 各競技とも25日（土）のみの開催とする。
- 観戦者は3年生の保護者のみとし、各学校で事前に把握する。
- 全参加チームによるトーナメント戦やリーグ戦を行わなくとも、得失点差等をもとに順位をつける等、できるだけ表彰できるようにする。賞状の授与については、山県郡中体連要項に記載してある「各種大会統一規定」の通りとする。

令和2年度芸北地区中学校総合体育大会実施上の感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により逐次見直すことがあり得ることに御留意ください。

1 大会実施に当たっての基本的考え方について

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
○身体的距離の確保 ○マスクの着用等 ○手洗い・消毒の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間，密集場所，密接場所）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 大会当日，各家庭，集合場所において，検温，健康観察を行い，風邪の症状（発熱，咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある生徒や引率者等は，大会に参加させないことを徹底する。また，このことは，大会関係者（外部審判含む），観戦される保護者も対象とする。
- 大会当日，引率者等は，生徒の健康観察カード（現在，山県郡，安芸高田市で毎朝学校に提出しているもの）を提出させ，生徒の体調を確認するとともに，大会中，生徒や引率者等に体調不良がある場合は，大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。なお，健康観察カードは，引率者が大会会場に持参する。
- 引率者等は，集合時，更衣後，ウォーミングアップ終了後，試合前後，昼食時，解散時等，こまめに生徒の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど，集合時から解散時まで生徒の健康観察を徹底する。
- 大会関係者及び引率者等は，大会中に，生徒等の体調不良を確認した場合，大会救護係や保護者等と連携し，当該生徒の体調を確認するとともに，安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

(2) 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 開会式・閉会式・表彰式は，人と人との間隔をできるだけ2メートル（最低1メートル）を確保したうえで実施する。
- 引率者会議等を実施する場合，人と人との間隔が，できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう，椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は，集合時，待機中，休憩中及び食事中などにおいて，生徒同士の間隔が，できるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- 対戦相手や審判等との握手，仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣，ハイタッチ，歌唱や大声での声援などの実施は禁止とする。（観戦される保護者も対象）

イ マスクの着用等

- 生徒、引率者等及び大会関係者、また観戦される保護者は、マスク等を準備し、競技中（ウォームアップを含む）、食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するようお願いする。ただし、気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、適宜マスクを外してもよいことをアナウンスする。
- 引率者等は、生徒に飲料ボトルや給水用のコップ、タオル等の共用はせず、個人専用のものを使用するように指導する。

ウ 手洗い等の徹底

- 手指消毒のための消毒液を複数個所（会場出入口を含む）に設置する。
- 生徒、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で、生徒や引率者等に手洗いを促す。また、参加チームも消毒液を持参し、給水時や試合間等、こまめに消毒を行う。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんで手洗いを行うよう、生徒に指導する。

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場所)の回避

- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等に乗車する前に手指の消毒を行わせ、車内では可能な限り座席を離し、会話を控えることやマスクの着用を徹底させる。また、車内が密閉空間にならないよう、道路や乗車者の状況に配慮しつつ、運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 試合会場への入場は、各校部員、引率者等及び大会関係者、3年生の保護者のみとする。また、観戦される保護者のリストを事前に各校で作成し、大会終了後3週間保管をする。
- 更衣室で生徒が密集しないよう、できるだけ2メートル（最低1メートル）空けるよう指導する。また、更衣室の換気扇を常時運転する、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- 屋内で実施する競技において、可能ならば、ドアや窓を常時開放する。競技の特性上難しい場合は、定期的に会場のドアや窓を開け換気を行う。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気施設を適切に運転する。
- 試合会場のベンチやウォーミングアップゾーン、観客席等において、人と人との距離ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう措置を講じる。
- 試合会場の食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、生徒同士の間隔を取らせ、対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 参加校に対し、事前に本ガイドラインを周知徹底する。顧問等は、大会に参加する生徒及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、参加の意思を確認する。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。また、学校施設を利用して大会を実施する場合は、感染拡大予防対策について、事前に、会場となる学校の教職員と打合せを行う。
- 各会場の状況や各競技特性に応じた適切な感染予防対策、特別競技規則（試合数の削減、試合時間の短縮 など）を積極的に策定、実施することとする。